

【事務事業調書】

事務事業名	自主防犯組織育成費			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業
					001-02-01-11-00030101
担当部課	総務部地域安全課	担当	地域安全係		事業の分類
		係長	戸井田 和明		
					既存事業

■事務事業の概要

		何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後 評価	普段からの地域地域活動が定着して特に北小地区のスクールガード青バト隊の活動を中心に地域に広がりつつあります。活動も1,647回実施され、地域の安心安全が図られました。	町民の皆様の防犯意識の向上を図ること、地域住民が自主的に防犯組織を設立して活発に活動することにより、地域の安全度が向上して安全で安心な住みよいまちづくりを推進できます。また、町、警察、自主防犯組織等の情報共有、連携が迅速な対応を産み地域住民を守り、犯罪の抑止へとつながります。
	H24 事前 評価	町自主防犯団体協議会に補助金を交付して、地域における防犯活動を支援します。防犯意識の高揚を図るため小学生・中学生に防犯教育を実施するとともに、一般には、啓発活動を実施します。町民の皆様の一ひとりが防犯の意識を持つことが犯罪から身を守る一番の手段です。次に近所隣の助け合い見守りが大切になってきます。防犯意識を高めるには、小学生・中学生のときから防犯教育を実施することが大切です。町自主防犯団体協議会を中心に企業等の協力を得ながら防犯教育を実施していきます。また、地域の見守りとして、防犯連絡協議会・スクールガード・交番パトロール隊のパトロールを実施します。	
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
防犯活動の回数	1,600回		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	700	高根沢町自主防犯団体協議会補助
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	700	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	700		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	700		

■補助金等名:高根沢町自主防犯団体協議会補助

■補助事業者等:高根沢町自主防犯団体協議会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準			自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	5	全町を対象として支部を組織し、地域の防犯活動を展開している。その結果、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進できる。
		■町全体に波及効果が期待できる。	5	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	5	地域住民による防犯パトロール等により地域内の安全性が確保され、安全、安心なまちづくりに貢献できる。また、犯罪発生未然防止にもつながる。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	4	自主防犯団体等が活発に活動することにより地域の安全性が高まり、地域住民は安心して暮らすことができる。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	5	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	平成20年度に自主防犯団体協議会が組織され、緊急時の早期情報伝達や犯罪の抑止に期待できる。また、事業を活発に実施することにより地域の安全性を向上させることができる。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	自主防犯団体協議会、防犯連絡協議会、青パト隊、スクールガードによる活動により地域の安全が確保され、犯罪発生も未然に防ぐことができるため、地域住民は安心して暮らすことができる。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数			44	
総合評価			継続	